

【会議結果報告】第3回 長崎県2040年研究会

| | | | |
|------|--|----|------------------|
| 日時 | 令和元年6月11日(火曜日)10時00分から12時30分 | | |
| 場所 | 長崎県庁1階大会議室B | | |
| 出席者 | 一瀬委員、小川委員、柿本委員、川原委員、菊森委員、佐藤委員、船橋委員、山口委員 | | |
| 事務局 | 政策企画課 | | |
| 公開状況 | 傍聴 | 不可 | 結果公表 可 (一部公表を含む) |
| 議題 | <p>長崎県の人口減少と2040年にかけてくる危機について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新技術(IoT、AI等)の進化・発展をどのように活用し、またどのような産業を伸ばしていくべきか ・ 人口減少、人口構造の変化に対応した自治体サービスのあり方について | | |
| 議事概要 | <p>○意見交換</p> <p>事務局から資料に基づき説明がなされ、長崎県内における2040年にかけてくる危機について出席者から</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産年齢人口の減少による労働力不足をいかに補うか <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸(富山県など)の若者定着状況について ・ 子育て支援サービス環境の整備、子育てを社会全体・コミュニティで考えることの必要性について ・ 介護人材の確保について ・ 高齢者・女性の活躍促進について ・ 外国人材の活用と受入環境の整備について 2. 新技術(IoT、AI等)の進化・発展をどのように活用し、またどのような産業を伸ばしていくべきか <p><新技術></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IoT、AIの活用に係る「長崎の独自性」について ・ 新技術の導入に係る規制緩和について ・ ICTリテラシーを先取りした人材育成、企業育成について ・ 長崎県民の暮らしを考える中で、技術の活用を考えることについて <p><産業構造></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「中央、地方」など過去の遺物に囚われず、「地方と地方」など新しい発想への転換について ・ スタートアップ、企業支援について ・ 長崎県のビジョンの打ち出しについて ・ 長崎県の地域特性等を活かした産業振興への支援について ・ 今後の産業構造について(ものづくりからサービス業へ) ・ 企業誘致の在り方について ・ 無償サービスの有償のサービスへの転換について | | |

<高速移動手段について>

- ・ 高速移動手段の必要性について
- ・ 長崎空港24時間化の推進について

3. 人口減少、人口構造の変化に対応した自治体サービスの在り方について

- ・ 公共私の関係性のあり方について
- ・ 県と市の役割分担について

等について発言・意見交換が行われた。

会議における意見については、「長崎県2040年研究会報告書」へ反映・参考とさせていただきますこととしている。